



SDM テンプレートの設定

- [SDM テンプレートに関する情報, on page 1](#)
- [SDM テンプレートとスイッチ スタック, on page 1](#)
- [SDM テンプレートの設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートのモニターリングおよびメンテナンス \(3 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの設定例, on page 3](#)
- [SDM テンプレートに関する追加情報 \(5 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの機能履歴 \(5 ページ\)](#)

SDM テンプレートに関する情報

SDM テンプレートを使用してシステム リソースを設定すると、特定の機能に対するサポートをネットワーク内でのデバイスの使用方法に応じて最適化することができます。一部の機能に最大システム使用率を提供するようにテンプレートを選択できます。

Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチは、次のテンプレートをサポートしています。

- アクセス
- NAT

テンプレートを変更し、システムを再起動した後、**show sdm prefer** 特権 EXEC コマンドを使用して、新しいテンプレート設定を確認できます。**reload** 特権 EXEC コマンドを入力する前に、**show sdm prefer** コマンドを入力すると、**show sdm prefer** コマンドにより、現在使用しているテンプレートおよびリロード後にアクティブになるテンプレートが表示されます。

SDM テンプレートとスイッチ スタック

1つのスイッチスタックで、すべてのスタック メンバにより、アクティブなスイッチに保存された同一の SDM テンプレートを使用する必要があります。新規スイッチがスタックに追加されると、アクティブ スイッチに保存された SDM コンフィギュレーションは、個々のスイッチに設定されているテンプレートを上書きします。

show switch 特権 EXEC コマンドを使用すると、スタック メンバが SDM 不一致モードになっているかどうかを確認できます。

SDM テンプレートの設定方法

SDM テンプレートの設定

SDM テンプレートを使用して機能動作を最適にサポートするには、次の手順を実行します。

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	enable Example: Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal Example: Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	sdm prefer access nat Example: Device(config)# sdm prefer access	スイッチをアクセステンプレートに設定します。
ステップ 4	end Example: Device(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	reload Example: Device# reload	オペレーティング システムをリロードします。 システムの再起動後、 show sdm prefer 特権 EXEC コマンドを使用して、新しいテンプレート設定を確認できます。 reload 特権 EXEC コマンドを入力する前に、 show sdm prefer コマンドを入力すると、 show sdm prefer コマンドにより、現在使用しているテンプレートおよびリ

	Command or Action	Purpose
		ロード後にアクティブになるテンプレートが表示されます。

SDM テンプレートのモニターリングおよびメンテナンス

コマンド	目的
show sdm prefer	使用中の SDM テンプレートを表示します。
reload	スイッチをリロードして、新しく設定した SDM テンプレートをアクティブにします。



- (注) SDM テンプレートには、テンプレートの一部として定義されているコマンドのみが含まれています。テンプレートで定義されていない別の関連コマンドがテンプレートで有効になっている場合、**show running config** コマンドを入力すると、該当するコマンドが表示されます。たとえば、SDM テンプレートで **switchport voice vlan** コマンドが有効になっている場合、(SDM テンプレートでは定義されていませんが) **spanning-tree portfast edge** コマンドも有効にすることができます。

SDM テンプレートを削除すると、そのような他の関連するコマンドも削除されるため、明示的に再設定しなければなりません。

SDM テンプレートの設定例

例：SDM テンプレートの表示

次に、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチのアクセステンプレート情報を表示する出力例を示します。

```
Device# show sdm prefer access
This is the Access template.
Number of VLANs: 4094
Unicast MAC addresses: 32768
Overflow Unicast MAC addresses: 1024
L2 Multicast entries: 8192
Overflow L2 Multicast entries: 512
L3 Multicast entries: 8192
Overflow L3 Multicast entries: 512
Directly connected routes: 24576
Indirect routes: 8192
STP Instances: 1024
```

```

Security Access Control Entries:          5120
QoS Access Control Entries:              5120
Policy Based Routing ACEs:               1024
Netflow Input ACEs:                      256
Netflow Output ACEs:                     768
Ingress Netflow ACEs:                    256
Egress Netflow ACEs:                      768
Flow SPAN ACEs:                           1024
Tunnels:                                  512
LISP Instance Mapping Entries:            512
Control Plane Entries:                    512
Input Netflow flows:                      32768
Output Netflow flows:                     32768
SGT/DGT (or) MPLS VPN entries:           8192
SGT/DGT (or) MPLS VPN Overflow entries:   512
Wired clients:                            2048
MACSec SPD Entries:                       256
MPLS L3 VPN VRF:                           255
MPLS Labels:                               2048
MPLS L3 VPN Routes VRF Mode:              7168
MPLS L3 VPN Routes Prefix Mode:           3072
MVPN MDT Tunnels:                          256
L2 VPN EOMPLS Attachment Circuit:         256
MAX VPLS Bridge Domains :                  128
MAX VPLS Peers Per Bridge Domain:         32
MAX VPLS/VPWS Pseudowires :                1024

```

These numbers are typical for L2 and IPv4 features.
Some features such as IPv6, use up double the entry size;
so only half as many entries can be created.
* values can be modified by sdm cli.

次に、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチの NAT テンプレート情報を表示する出力例を示します。

```

Device# show sdm prefer nat
This is the NAT template.
Number of VLANs:                          4094
Unicast MAC addresses:                     32768
Overflow Unicast MAC addresses:            1024
L2 Multicast entries:                      8192
Overflow L2 Multicast entries:             512
L3 Multicast entries:                      8192
Overflow L3 Multicast entries:             512
Directly connected routes:                 24576
Indirect routes:                           8192
Security Access Control Entries:           5120
QoS Access Control Entries:                1024
Policy Based Routing ACEs:                 5120
Netflow Input ACEs:                         256
Netflow Output ACEs:                       768
Flow SPAN ACEs:                            1024
Tunnels:                                    512
LISP Instance Mapping Entries:             512
Control Plane Entries:                     512
Input Netflow flows:                       32768
Output Netflow flows:                      32768
SGT/DGT (or) MPLS VPN entries:            8192
SGT/DGT (or) MPLS VPN Overflow entries:    512
Wired clients:                              2048
MACSec SPD Entries:                         256
MPLS L3 VPN VRF:                            255
MPLS Labels:                                2048
MPLS L3 VPN Routes VRF Mode:               7168
MPLS L3 VPN Routes Prefix Mode:           8192

```

```

MVPN MDT Tunnels:                256
L2 VPN EOMPLS Attachment Circuit: 256
MAX VPLS Bridge Domains :        128
MAX VPLS Peers Per Bridge Domain: 32
MAX VPLS/VPWS Pseudowires :      1024
These numbers are typical for L2 and IPv4 features.
Some features such as IPv6, use up double the entry size;
so only half as many entries can be created.
* values can be modified by sdm cli.

```

例 : SDM テンプレートの設定

```

Device(config)# sdm prefer access
Device(config)# exit
Device# reload
Proceed with reload? [confirm]

```

SDM テンプレートに関する追加情報

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
この章で使用するコマンドの完全な構文および使用方法の詳細。	<i>Command Reference (Catalyst 9300 Series Switches)</i>

SDM テンプレートの機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	SDM テンプレート	標準の SDM テンプレートを使用すると、システムリソースを設定して、特定の機能のサポートを最適化できます。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> [英語] からアクセスします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。